

静岡県東部地域企業経営動向調査

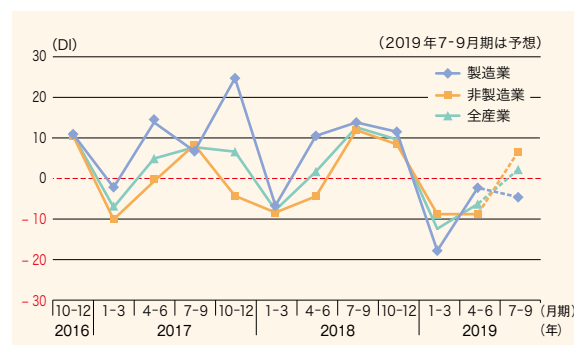
(2019年4-6月実績、2019年7-9月期見通し)

① 業況概要(自社)

製造業は「下降」超ながらも大きく改善。非製造業は「下降」超のまま横ばい

静岡県東部地域における2019年4-6月期の業況判断DI(前期比)は、全産業でみると-6.3(前期-12.4)と大幅に低下した前期からやや持ち直した。業種別にみると、製造業全体では、-2.3(前期-17.8)と「下降」超ながらも大きく改善。金属製品が横ばいだった以外は、すべての業種で改善し、特に食料品の上昇幅が大きい。非製造業では、卸・小売・サービスでやや改善したものの建設が低下し、全体では、-8.8(前期-8.8)で横ばいとなった。

2019年7-9月期の予想DI(今期比)は、製造業(-4.6)はやや低下の一方、非製造業(6.6)は「上昇」超に転じる見通しとなっている。



業種別天気図 業況好調 ← → 業況不振

	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2019年1-3月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️
2019年4-6月期	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
2019年7-9月期	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️

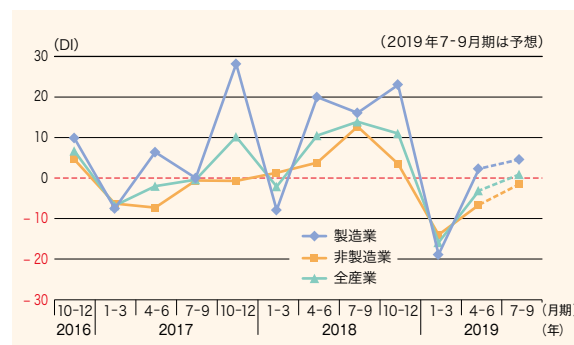
(2019年1-3月期、2019年4-6月期は前期比。2019年7-9月期は今期比予想)

② 売上動向

製造業、非製造業ともに改善。製造業は「増加」超に転じる

2019年4-6月期の売上動向DI(前期比)は、全産業でみると-3.1(前期-15.9)と「減少」超ながらも大きく持ち直した。業種別にみると、製造業全体では、2.3(前期-18.9)と「増加」超に転じた。金属製品以外は改善し、特に、食料品、パルプ・紙・紙加工品の改善幅が大きい。ただし、一般機械器具は改善したものの「減少」超の水準のままである。非製造業全体も、-6.6(前期-14.0)と持ち直したが「減少」超の水準にとどまっている。ただし、建設では「減少」超が拡大している。

2019年7-9月期の予想DI(今期比)は、製造業(4.6)、非製造業(-1.5)ともに改善する見通しとなっている。

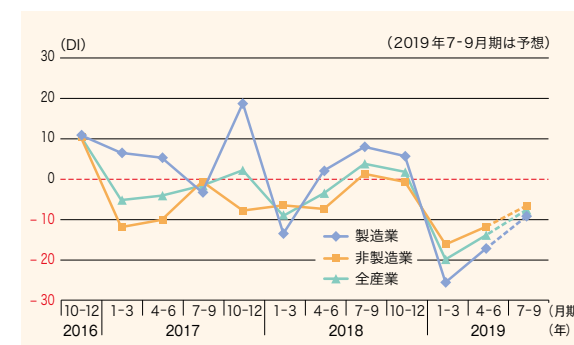


③ 利益動向

製造業、非製造業ともに改善。来期も引き続き改善の見通し

2019年4-6月期の利益動向DI(前期比)は、全産業でみると、-13.9(前期-19.9)と「減少」超ながらも改善した。業種別にみると、製造業全体では、-17.2(前期-25.6)と改善した。その他製造業は大きく改善し、中立水準となったが、それ以外の業種は「減少」超の水準にとどまっている。非製造業も全体で、-11.8(前期-16.2)と改善したが、すべての業種が「減少」超の水準にとどまっている。

2019年7-9月期の予想DI(今期比)は、製造業(-9.2)、非製造業(-6.6)ともに改善する見通しとなっている。



④ 経営上の問題点

「受注・売上の停滞・減少」が最もウエイトの高い問題点に

表に掲げた、経営上の問題点を3つ選択する方式では、「人材の育成」が「受注・売上の停滞・減少」を上回り最多となった。ただし、3つのなかで最もウエイトの高い問題点とし

ては、製造業、非製造業ともに「受注・売上の停滞・減少」が最多(非製造業では「人件費の増加」が同率で並ぶ)で、「人材の育成」は4番目の問題点となっている。

	2018年10-12月期		2019年1-3月期		2019年4-6月期		順位変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 人材の育成	92	40.2%	85	38.1%	93	43.1%	↑
2. 受注・売上の停滞・減少	93	40.6%	89	39.9%	89	41.2%	↓
3. 求人難	86	37.6%	81	36.3%	88	40.7%	→
4. 従業員の高齢化	69	30.1%	81	36.3%	77	35.6%	↓
5. 人件費の増加	60	26.2%	72	32.3%	55	25.5%	→
6. 原材料・資材・仕入商品の値上がり	64	27.9%	66	29.6%	51	23.6%	→
7. 生産・販売能力の不足	58	25.3%	36	16.1%	43	19.9%	↑
8. 過当競争・製品安	49	21.4%	45	20.2%	38	17.6%	↓

(回答企業229社)

(回答企業223社)

(回答企業216社)

調査の概要

1. 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業454社 回答企業数224社(回答率49.3%)
3. 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間 実績:2019年4-6月期 見通し:2019年7-9月期
5. 調査時点 2019年6月

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標。